

特定非営利活動法人
新潟国際ボランティアセンター

2020年度通常総会議案書

日時： 2020年5月30日(土)13:00～14:30

形式： オンラインシステム(Zoom)による遠隔会議

特定非営利活動法人 新潟国際ボランティアセンター
新潟市中央区営所通2番町692-27 ビラプリンス103
URL: <http://www.nvcjapan.org/>
E-mail: info@nvcjapan.org

2020年度 特定非営利活動法人新潟国際ボランティアセンター
通常総会

－ 次 第 －

1 開会

2 議長・議事録署名人・書記の選出

3 総会成立の確認

4 議案審議

第1号議案 2019年度事業報告について

第2号議案 2019年度収支決算・監査報告について

第3号議案 2020年度事業計画について

第4号議案 2020年度活動予算について

第5号議案 役員について

5 閉会

14:30～14:45 2020年度第2回運営委員会

ご挨拶

会員の皆様におかれましては、日頃よりNVCの活動にご協力・ご支援を賜り誠にありがとうございます。とうございます。

1989年に新潟の有志の方々による「国境を超えて困った人たちを助けたい！」という思いでチャリティーバザーが開催され、そして1990年に団体として結成されたNVCは、2020年になんと30周年を迎えることとなりました。組織を作り、継続して運営していくことが困難であることが叫ばれるこの世の中で、30年も継続して活動を展開できたのは、ひとえに皆様のおかげであると日々感謝の意に堪えません。

しかし、喜んでばかりもいられません。今は世界中が新型コロナウイルスという困難に直面しております。NVCも「2020年度は30周年記念の年になる！皆さんとお祝いできる企画を実施しよう！」と張り切っておりましたが、大勢の方々にお集まりいただくイベント開催が難しくなりました。支援先であるベトナムへの渡航、各種イベントへの参加、など予定していたことが悉くキャンセルになっており、日々新しい方法を模索しているところです。更に、障がい児支援事業現場であるベトナムのマダグイこどもセンターにて火災が発生し、死傷者はいないものの、建物や生活の復興に追われているとの連絡が入りました。このこどもセンターは、辺境にあるため支援が集まりにくく、サポートしてくれる人も少ないので、心細い日々を送っていることと思います。

このような困難な状況ですがNVCは動きます。困難な状況だからこそ、今まで受け継がれてきた想いと培ってきた人と人との信頼関係をつなぎ、できることを見出しています。インターネットを利用し、今できることを探し、一つずつ形にしていきたいと思っています。

昨年お亡くなりになりました原敏明元共同代表は、常に「世界規模で様々な角度で物事を考え、どんどん新しいことにチャレンジしていこう。それができるのがNVC。成長し続けることができるのがNVC」と話していました。原元共同代表の遺志を受け継ぎ、進み続けていきたいと思っています。

30周年を迎えるNVCをどうぞよろしく願いいたします。

NVC代表 三上杏里

第1号議案

2019年度事業報告

1 ラオス支援事業



(1) 事業の概要

対象地域の住民が、土地を含む地域の自然資源を、主体性をもって管理・利用できるように支援する。具体的には、地域のコミュニティー林や河川の地図と併せてそこでの住民による利用状況の記録を作成し、行政からの承認も得ることを通して、住民主体の管理・利用を実現する。また、各種農業技術や井戸の修理研修などを通して、土地や水資源の利用効率の向上も支援する。2018年度は生物調査、稲作技術改善、自然資源管理などを実施した。

※事業実施主体の日本国際ボランティアセンター（JVC）の事業にNVCが一部資金を提供している。

(2) 実施日または期間：2019年4月1日～2020年3月31日

(3) 実施場所 サワンナケート県ピン郡およびアサパントン郡の各5村ずつ計10村

(4) 担当者及びJVCスタッフの数 東京事務所1名、サワンナケート事務所は日本人2名、ラオス人9名

(5) 受益対象者の範囲及び人数 上記2郡10村の村人、計1,412世帯、9,276人を直接的な対象とする

(6) 支出額 100,000円（当会からの協力金として）14,932円（事業実施諸費）
計 114,932円

2 ベトナム奨学金事業

(1) 事業の概要



本事業は、ホーチミン市の経済的に困窮する大学生に対して、入学から卒業までの4年間、奨学金を支給し、学業の継続を支援するものである。2019年度の支給人数は54人で、内訳は表1のとおり。

1人あたりの奨学金支給額は、2015年度まで年額1万円であったが、ベトナムにおける学費や物価の上昇などを考慮した結果、2016年度から年額2万円に引き上げた。また、2018年度より、年間の事業経費を2,000円から10,000円に値上げした。その結果、奨学金サポーター募集の際の金額は、88,000円から120,000円に変更となった。

なお、2015年度以降に支給を開始した学生（1～2年生）に対しては、同年度から導入したサポーター制度により、日本国内の市民・企業・団体とベトナムの奨学生が直接つながる形になっている。

(2) 実施日／期間：通年

(3) 実施場所：ベトナム社会主義共和国ホーチミン市

(4) 担当者およびスタッフの数

NVC 担当者（2人）：大澤容佳・山田裕史、現地スタッフ（1人）：Thu Linh

(5) 受益対象者の範囲及び人数

ホーチミン市の大学に通うベトナム人学生 56人（別表のとおり）

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年2月22日にホーチミン市で予定していた奨学金授与式は開催できなかった。奨学金はベトナムへ送金し、2020年6月学生に配布予定。

(6) 支出額 180,615 円 (事業実施諸経費を含む)

【表1】 2019年度の支援人数 (実績)

	4年生	3年生	2年生	1年生	合計
サポーターより拠出	15	12	13	14	54

3 ベトナム障がい児支援事業



(1) 事業の概要

本事業はマダグイ子どもセンターで生活する青年や障がいを持つ子どもを支援し、施設の自立を助け、ベトナム社会への発展に寄与することを目的としている。本事業は、新潟県国際交流協会様より国際交流ふれあい基金助成金(107万円)を受け、教育支援及び職業訓練支援を行った。

<教育支援> 施設で生活する幼少の子どもたちが成長し、就学児どうが増えたため、教育に関わる費用を支援することにより、安定した教育環境の提供及び施設の健全な生活保持を行った。2018年度からの継続事業。

<職業訓練> 2015～2017年の3年間、自立支援事業として線香及びビーズ(数珠)製作を支援した。その際の設備や技術を有効に使い職業訓練を行い、子どもたちの生きる力を伸ばす目的とし事業を行った。本事業は施設の現在を支援することからその先を見据え、子どもたちの未来を支援する事業である。2018年度からの継続事業。

また、8月のスタディツアー時には、ホーチミン市内にあるキークワン寺の障がい児施設へも訪問し生活必需品の支援を行った。

(2) 実施日または期間

マダグイ子供センター：2019年4月～2020年3月

(現地訪問：8月スタディツアー)

(3) 実施場所 ベトナム社会主義共和国 ラムドン省マダグイ子供センター

(4) 担当者およびスタッフ 担当者：小林伸子 現地スタッフ：Ly Thu Linh

(5) 受益対象者の範囲及び人数

マダグイ子供センター：約60名 (約12名が障がい児)

(6) 支出額 1,171,380 円 (事業管理費含む)

4 ベトナム小学校支援事業

(1) 事業の概要



本プロジェクトはベトナムの貧しい地域で学ぶ子どもたちの教育環境を整え、ベト

ナムの未来を担う子どもたちを支援することを目的としている。2014年にキッ子くらぶ様と日本郵政グループ労働組合様からの資金による合同プロジェクトで、ベンチェ省ビンカンドン村小学校に新設の2教室を建設した。

2019年度の活動として継続してPC教室への支援を行った。8月スタディツアーで訪問した際には、イソメディカルシステムズ様からご寄付いただいた12台のPCを届けた。また子供たちにスクールパッケージとしてノートやお菓子などのお土産を準備し、ツアー参加者とゲームなどを行い楽しく交流をした。村の方々ともランチを通して交流を行った。

2020年2月に再度訪問し、7台のPCを寄付する予定であったが、コロナウィルスの影響により渡航は中止となった。

(2) 実施日または期間 2019年4月1日～2020年3月31日

(訪問: 2019年8月スタディツアー)

(3) 実施場所 ベトナム社会主義共和国 ベンチェ省 ビンカンドン村小学校

(4) 担当者およびスタッフ 担当者: 小林伸子 現地スタッフ: Ly Thu Linh

(5) 受益対象者の範囲及び人数 現在の生徒数 225名

(6) 支出額 78,600円 (事業管理費含む)

5 シェルター女児支援事業

(1) 事業の概要



キムチシェルターで生活する女児たちが職業訓練をしながら生産する商品を購入し、新潟で販売することで、女児たちの自立を応援する事業。女児達と新潟にいる私たちがつながり、共に発展していくことを目指す事業。縫製技術習得希望の女児達が増えたことを受け、縫製指導者の雇用費用などを支援し、女児たちの縫製技術スキルアップのための支援を行った。

2018年度は、縫製技術を身に付けた女児達の数名が18歳に達して各自独立という節目を迎えた年でもあった。女児達の中には縫製教室で培ったスキルを活かして、就職した女児、専門学校に進学した女児などがいると報告があった。また、新しく新入生が多く入ってきたため、新たに一から縫製を学ぶ必要のある女児が増加、そして初めての男児の入学もあった。

(2) 実施日/期間 通年

(3) 実施場所

①ベトナム社会主義共和国ロンアン省キムチシェルター: スカートやアオザイ風チュニックの作成

②販売は各種イベント会場及びバザー会場など

(4) 担当者およびスタッフの数 三上杏里、小林伸子、鏡千夏、相馬優花、松山千紘

(5) 受益対象者の範囲及び人数 KimChi シェルター: シェルター利用女児 100名の内の25名前後

(6) 支出決算額 599,423円 (事業管理費含む)

6 ベトナムスタディーツアー事業



(1) 事業の概要

ツアーを通してベトナムの現状や NVC プロジェクトの内容、現場、文化、歴史を知り、NVC の活動や援助の必要性を知る。そして、一事業に携わる事で NVC 活動に対する当事者意識を育成する事を目的とする。

2019 年は、大学生 5 名、NVC 運営委員 2 名、社会人 6 名（内 1 人はベトナム現地在住）でツアーを行い各事業現場への訪問及びキムチシェルターへの栄養補給用の食事配給、建設したビンカンドン村のこどもたちとゲーム、マダグイこどもセンターにて障がい児と交流してもらうなど現地のアクティビティを充実させ、奨学生とのホーチミンまちあるきなどを通じて交流を行った。

また、若手スタッフの参加を促し一部渡航費用を会が負担することにより、より現地でのミッションを担ってもらうべく人材育成にも力を入れて実施した。

- (2) 実施日 2019 年 8 月 16 日～8 月 22 日（6 泊 7 日）
- (3) 実施場所 ベトナム社会主義国ホーチミン市とその近郊
- (4) 担当者及びスタッフ数 小林伸子、三上杏里、
- (5) 受益対象者の範囲及びその人数 一般応募 10 名
- (6) 支出額 359,895 円（事業管理費含む）

7 チャリティーバザー事業（愛のかけ橋バザー&フェスタ）



(1) 事業の概要

NVC 愛のかけ橋バザー&フェスタは、各事業の資金を調達するだけでなく、新潟を基盤とした NVC の国際協力について、広く市民に知ってもらう機会となっている。チャリティーバザーによる物品販売、アクセサリ作り体験コーナー、さらに NVC カレンダーに採用する写真を選ぶ NVC カレンダー総選挙も開催された。台風により、一度延期され一日のみの開催となったが例年通りの盛り上がりを見せた。

- (2) 実施日または期間 2019 年 11 月 24 日（日）
※10月5日（土）～6日（日）に開催予定だったが台風 19 号により延期した
- (3) 実施場所 ピア Bandai にぎわいマルシェ
- (4) 担当者及びスタッフの数
担当者：港美結、三上杏里、鏡千夏 当日ボランティア（実数）：30 人
- (5) 受益対象者の範囲及び人数 来場者数：延べ 1,000 人程度
- (6) 支出額
97,754 円（事業管理費含む）
※バザー事業収入：242,053 円 バザー売上（カレンダー含む）・寄付・募金

8 広報・啓発講座・人材育成事業



(1) 事業の概要

新潟県在住の人々に、地球規模の課題を発信し、啓発を行うことにより、新潟と世界とが繋がり、共生できる社会作りを目指すことを目的とした事業。より若者の人材育成に力をいれるべく、2019年度も新潟の若者にアルバイトスタッフやインターンスタッフとしてより責任感を持って業務に従事してもらおうプログラムを採用し、NGOの実務体験を通じて様々なスキルを身に付けてもらった。会計担当、啓発・SDGs担当、ソーシャルビジネス担当と3つの担当役割を設け、具体的に何をした良いかについて常に意識し、行動してもらおう環境を整えた。また、2018年度に開発したNVCオリジナルワークショップは5回開催した。

- (2) 実施日 通年
- (3) 実施場所 NVC 事務所、各イベント・講座会場、他
- (4) 担当者及びスタッフ数 三上杏里、鏡 千夏、相馬優花、松山千紘
- (5) 受益対象者の範囲及びその人数 講座参加者：100人、イベント担当者：5人
- (6) 支出額 734,461円

9 新潟市在住私費留学生国民健康保険助成事業



(1) 事業の概要

新潟県内の大学や専門学校に在学し、新潟市に在住している「留学」の資格を持つ、一定以上の収入の無い私費留学生に対し、一人につき年間5千円ずつ国民健康保険料の助成を行う事業。1年以上滞在する学生は公的健康保険に加入しなくてはならず、多くの場合が国民健康保険に加入することになるが、経済的な負担になっていることもある。そのため、経費の一部を助成することで安心して医療を受けてもらおうという趣旨。1995年（平成7年度）から（公財）新潟市国際交流協会との協働事業として実施。受給した留学生より喜ばれている反面、協働事業としてのNVCについては知られていない。一番大事な財源が毎年の寄付が少ないため残金がおよそ200万円の状況になっている。

- (2) 実施期間 通年（保険料の助成金支払いは1月）
- (3) 実施場所 新潟市（新潟市国際交流協会との協議は1月に開催）
- (4) 担当者及びスタッフの数 三上杏里、細谷唯一
- (5) 受益対象者の範囲及び人数
2020年3月見込み 200件 100万円
(市協会への本事業に対する寄付金の件数及び金額 30万円 2020年1月現在)
- (6) 支出額 114,740円

10 その他の運営に関する事項

- (1) 機関紙発行 「かけ橋」53号（2019年8月24日）54号（2020年2月7日）
- (2) 運営委員会 毎月第3土曜日、新潟市市民活動支援センター、NVC事務所、オンライン会議システム Zoom を利用して開催計10回開催
- (3) 外部イベントへの出展
 - ①第90回県中央メーデー 2019年4月27日 陸上競技場
 - ②坂田家一般公開フリーマーケット 2019年4月27日～29日 有形文化財坂田家

③万代アースフェスタ	2019年5月5日	万代シティ
④やすだ瓦ロードフェスティバル	2019年6月9日	やすだ瓦ロード庵地地区
⑤本町マルシェ千灯まつり	2019年7月27日	本町ラブソディ
⑥ふむふむ自由研究	2019年8月10日、11日	メディアシップ
⑦新潟フェアトレードフェスティバル	2019年10月27日	NEXT21
⑧刈羽村文化祭	2019年11月3日	刈羽村生涯学習センター

(4) 出張講演、報告、ワークショップ等

①NVC オリジナルワークショップ開催

- 2019年5月25日クロスパル元奨学生アンティ氏をゲストに迎え実施
- 2019年8月24日 NUIS 中央キャンパスにて奨学生4人をゲストに迎え実施
- 2019年9月1日 (一社) おらってにいがたエネルギー協議会ユース合宿にて
- 2019年10月3日翠光高校社会教育の時間にて
- 2020年2月8日 2020 ながおかワーク&ライフセミナーにて

②NVC フェアトレードアクセサリワークショップ開催

- 2019年9月28日 (一社) 大学女性協会新潟支部例会にて

(5) 現地調査

①ベトナム事業進捗状況の確認

- 8月16日～8月23日にかけてのスタディツアーにて各事業の進捗状況を確認 (担当 代表三上、小林運営委員)

(6) 資金調達

- 冬の募金寄付募集キャンペーンを開催 (2019年12月1日～12月末日) し、合計で13万円以上の寄付を獲得することができた。

(7) 2019年度 役員体制

(五十音順)

運営委員	上田 和孝、加藤はとこ、金子洋二、北村 泰、櫛谷圭司、後藤ルミ、小林伸子、佐々木寛、佐藤 舞、高橋正樹、高山美結、(故)原敏明、馬場拓也、細谷唯一、大澤容佳、三上杏里、山田 裕史、若月章
監 事	阿部美恵子、藤井由美子
アドバイザー	篠田 昭、袖山由美子、西村智奈美、前野春樹、山田太郎

(8) マスコミ掲載

- 2019年5月23日 新潟日報 10頁 NVC オリジナルワークショップの紹介
- 2019年7月20日 新潟日報 16頁 「もっと知りたいあの記事あの人」にて元学生スタッフ中野伊吹さん紹介
- 2019年8月14日 BSN ラジオ番組「ゆうなびラジオ」にスタッフ相馬優花がNVCの活動紹介で出演
- 2020年2月24日 新潟日報 26頁 フェアトレードアクセサリの紹介

(9) その他

- ① カレンダーの販売部数・・・JVC カレンダー：1,600 円×50 部
NVC カレンダー：1,200 円×30 部
- ② 募金箱設置協力・・・俺のとんこつラーメン伝丸、阿部美恵子氏自宅、その他
匿名希望者自宅等
- ③ 加入している団体
日本国際ボランティアセンター、新潟県国際交流協会、新潟 NPO 協会、にいがた
NGO ネットワーク、新潟ベトナム協会
- ④ 助成金その他
(公財)新潟県国際交流協会より「新潟・国際協力ふれあい基金」(ベトナム障
がい児支援事業)、久光製薬株式会社ほっとハート倶楽部より 2019 年度の寄付
先として選定してもらい寄付を受けた。

収入				
項目	2019予算額	2019決算額	2018決算額	差額
会費	900,000	710,000	1,187,000	
会費(正会員)	800,000	602,000	1,076,000	
会費(賛助)	100,000	108,000	111,000	
事業	2,080,000	850,985	1,620,000	
バザー売り上げ	300,000	151,365	300,000	
NVCオリジナルグッズ売上	1,000,000	157,000	600,000	
イベント売り上げ	100,000	54,000	100,000	
カレンダー売り上げ	130,000	94,800	170,000	
セミナーなど講師謝礼	200,000	76,620	150,000	
スタディツアー事業収益	350,000	317,200	300,000	
寄付金	500,000	449,885	500,000	
奨学金指定寄付	1,400,000	1,332,000	1,100,000	
募金	300,000	72,859	200,000	
助成金	1,070,000	1,100,000	1,000,000	
雑収入、委託事業収入	0	45,460	0	
利息諸収入	50	21	400	
受取報奨金		0		
計	6,250,050	4,561,210	5,607,400	
支出(事業費)				
項目	2019予算額	2019決算額	2018決算額	備考
自主事業(海外)	3,700,000	2,047,776	3,445,000	
奨学金支援事業	1,161,000	180,615	1,161,000	
ベトナム障がい児支援事業	1,370,000	1,171,380	1,270,000	
シェルター女児支援事業	576,000	257,286	581,000	
スタディツアー事業	363,000	359,895	303,000	
小学校建設事業	230,000	78,600	130,000	
自主事業(国内)	958,800	968,127	1,512,657	
バザー	89,300	97,754	89,300	
カレンダー		135,912	155,500	
広報・啓発・人材育成	869,500	734,461	1,267,857	
他との協働事業	229,000	227,480	229,000	
ラオス(JVC)	112,500	112,740	112,500	
留学生健康保険(新潟市)	116,500	114,740	116,500	
緊急支援	0	0	0	
事業実施諸費	0	0	0	
計	4,887,800	3,243,383	5,186,657	
支出(事務局費)				
項目	2019予算額	2019決算額	2018決算額	備考
人件費	600,000	499,000	400,000	
家賃	148,000	148,000	148,000	
旅費交通費	90,000	194,300	90,000	
交際費	0	15,000	10,000	
支払保険料	15,000	14,763	15,000	
講師謝礼	0	0	0	
消耗品費	5,000	9,372	10,000	
事務用品費	5,000	12,849	150,000	
送金手数料	4,000	3,374	7,000	
他団体登録料	40,000	40,000	48,000	
教育費	0	0	70,000	
通信費	90,000	104,079	100,000	
寄付金	50,000	0	50,000	
光熱水費	30,000	33,535	30,000	
広告宣伝料	80,000	0	20,000	
印刷費	50,000	67,133	10,000	
会場費	0	0	0	
その他雑費	10,000	13,462	2,000	
減価償却費	10,612	10,612		
計	1,227,612	1,165,479	1,160,000	
支出(計)				
項目	2019予算額	2019決算額	2018決算額	備考
事業費	4,887,800	3,243,383	5,186,657	
事務局費	1,227,612	1,165,479	1,160,000	
計	6,115,412	4,408,862	6,346,657	

2019年度 一般会計活動計算書

(費用科目別フォーム)

期間	平成31年4月1日	～	令和2年3月31日	迄
項目	金額			
I 経常収益				
1 受取会費				
正会員受取年会費	602,000			
賛助会員受取会費	108,000			
受取入会金	0			
受取会費計			710,000	
2 受取寄付金				
一般寄付	449,885			
奨学金事業指定寄付	1,332,000			
募金	72,859			
受取寄付金計			1,854,744	
3 受取助成金等				
受取補助金	30,000			
受取民間助成金	1,070,000			
受取助成金等計			1,100,000	
4 事業収益				
売上高	0			
役務収益	0			
仲介手数料収入	0			
知る講座参加費	0			
バザー&フェスタ	151,365			
NVCオリジナルグッズ売り上げ	157,000			
イベント売り上げ	54,000			
カレンダー売り上げ	94,800			
スタディツアー事業収益	317,200			
セミナー等講師謝金	76,620			
事業収益計			850,985	
5 その他収益				
受取利息	21			
委託事業収入	0			
雑収入	45,460			
受取報奨金	0			
その他収益計			45,481	
経常収益合計(A)				4,561,210
II 経常費用				
1 事業費				
(1) 人件費				
人件費	515,880			
人件費計			515,880	
(2) その他経費				
仕入もしくは事業実施費	1,590,303			
講師謝礼	0			
会場費	8,370			
委託費	69,000			
支払い保険料	13,600			
消耗品費	10,959			
旅費交通費	572,789			
交際費	30,768			
家賃	296,000			
通信費	43,370			
光熱水費	41,800			
印刷費	34,106			
広告宣伝料	10,906			
送金手数料	5,532			
その他雑費	0			
その他経費計			2,727,503	
事業費計				3,243,383
2 管理費				
(1) 人件費				
役員報酬	0			
人件費	499,000			
法定福利費	0			
福利厚生費	0			
通勤手当	0			
人件費計				499,000
(2) その他経費				
家賃	148,000			
旅費交通費	194,300			
減価償却費	10,612			
交際費	15,000			
支払い保険料	14,763			
消耗品費	9,372			
事務用品費	12,849			
送金手数料	3,374			
他団体登録料	40,000			
教育費	0			
通信費	104,079			
寄付金	0			
光熱水費	33,535			
広告宣伝料	0			
印刷費	67,133			
会場費	0			
その他雑費	13,462			
その他経費計			666,479	
管理費計				1,165,479
経常費用合計(B)				4,408,862
当期経常増減額(C) = (A) - (B)				152,348
III 経常外収益				
雑益	0			
源泉税預り金	30,117			
前期損益修正益	0			
経常外収益計(D)			30,117	
III 経常外費用				
源泉税支払い	30,117			
固定資産売却損	0			
雑損失	0			
経常外費用計(E)			30,117	
当期経常外増減額(F) = (D) - (E)				0
当期正味財産増減額(G) = (C) + (F)				152,348
前期繰越正味財産(H)				5,913,720
次期繰越正味財産(I) = (G) + (H)				6,066,068

2019年度 奨学金基金 受払台帳

2020年3月31日

項 目	2018年度決算額 (基金残高)	2019年予算額		2019年度受払		調整金額		2019年度決算額 (基金残高)
				受	払	受	払	
NVC補填				0	10,000			
	1,002,584		0	0	10,000			992,584
新サポーター(2016年度)	130,000	2016年度サポーター	300,000	230,000	290,000			70,000
新サポーター(2017年度)	360,000	2017年度サポーター	240,000	20,000	240,000			140,000
新サポーター(2018年度)	500,000	2018年度サポーター	260,000	100,000	260,000			340,000
新サポーター(2019年度)	0	2019年度サポーター	280,000	※ 610,000	280,000			330,000
稲宮奨学基金	60,000		0	0	0			60,000
利息諸収入(利息)	359		0	18	0			377
計	2,052,943		1,080,000	960,018	1,080,000			1,932,961

令和元年度 会計貸借対照表
NPO法人新潟国際ボランティアセンター

令和2年3月31日 現在

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
101 現金	10,000		
103 新潟県信用組合	318,737		
104 ゆうちょ銀行	3,674,446		
105 振替口座	725,210		
106 第四銀行	2,052,961		
107 新潟県労働金庫	145,347		
流動資産合計		6,926,701	
2 固定資産			
201 建物	0		
206 工具器具備品	6,367		
3 投資等			
255 敷金	37,000		
固定資産合計		43,367	
資産合計			6,970,068
II 負債の部			
1 流動負債			
303 短期借入金	0		
305 未払法人税等	0		
307 前受金	904,000		
310 仮受金	0		
流動負債合計		904,000	
2 固定負債			
351 長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			904,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		5,913,720	
当期正味財産増加額(減少額)		152,348	
正味財産合計			6,066,068
負債及び正味財産合計			6,970,068

令和元年度 財産目録
NPO法人新潟国際ボランティアセンター

令和2年3月31日 現在

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1 流動資産			
101 現金	10,000		
102 小口現金	0		
103 新潟県信用組合	318,737		
104 ゆうちょ銀行	3,674,446		
105 振替口座	725,210		
106 第四銀行	2,052,961		
107 新潟県労働金庫	145,347		
108 預金6	0		
116 未収入金	0		
111	0		
116 未収入金	0		
流動資産合計		6,926,701	
2 固定資産			
205 車両運搬具	0		
206 工具器具備品	6,367		
255 敷金	37,000		
固定資産合計		43,367	
資産合計			6,970,068
II 負債の部			
1 流動負債			
303 短期借入金	0		
305 未払法人税等	0		
307 前受金	904,000		
310 仮受金	0		
流動負債合計		904,000	
2 固定負債			
351 長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			904,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		5,913,720	
当期正味財産増加額(減少額)		152,348	
正味財産合計			6,066,068

会計監査報告

2019年度(2019年4月1日～2020年3月31日)の収支決算
について、帳簿、預金通帳、その他関係書類を監査した結果、
すべて相違なく適正に処理されていると認めます。

2020年4月25日

監査委員

阿部 菜穂子 

監査委員

藤井 由美子 

【阿部監事及び藤井監事からのアドバイス（要旨）】

【全体】新型コロナウイルスの影響で予定していたイベントが開催できない、ベトナムへの渡航ができないなど多くの困難があると思うが、できることから確実に実施して欲しい。ウェブサイトによる発信など積極的に活用し、若い人の活躍できる場を整えながら展開して欲しい。

【30周年記念】大きなイベントやシンポジウムなどを開催して大勢の人に集ってもらおう、というのは新型コロナウイルスの関係で難しいと思う。よって、他の方法をぜひ模索してもらい、新しいアプローチを展開して欲しい。

【バザー】2018年と2019年の2年間に渡って天候による日程変更や実施体制の変更などを迫られた。近年は災害による影響も大きく、当初予定していた計画の実施が困難になる、などのこともある。無理の無い範囲で、危機管理を重視して実施して欲しい。2019年度の経験を活かし、今後のバザーは参加者の負担を減らすために1日のみの開催というのもぜひ積極的に検討して欲しい。

【広報・啓発・人材育成】NVCの人材育成も兼ねた若手の人材育成活動も軌道に乗ってきた。今までの成果を活かし、今後もぜひ彼らの活躍の場を整備し、なおかつ雇用状態も整えて欲しい。

第3号議案

2020年度事業計画（案）

2020年度事業実施の方針および中期ビジョンの進捗状況の確認

事務局長 港 美結

2018年度から始まった中期ビジョン、2019年度は2年目となりました。2019年度の計画の中で「順調に進んでいるな」と感じるものは企業や団体の協力を得ることです。2015年度から開始した奨学金サポーター制度は、5年が経過しました。初めは個人で申し込みをするサポーターさんが多かったのですが、2019年度募集の奨学生14名のサポーターのうちなんと9名分が企業や団体の支援によるものです。もちろん、個人の方からの申し込みもとっても嬉しいですが、私たちNVCの活動に関心をもち、支援いただける企業・団体が増えてきたことは喜ばしいことと感じています。奨学金サポーターの他にも、ビンカンドン村小学校へのPCの寄付、チャリティーバザーの後援等、企業・団体の皆様からはたくさんの協力をいただいています。2019年度を目途に目指していた認定NPO法人化は、まだまだ準備中です。会員数拡大、さらなる企業・団体からのサポートを受けるためにも、引き続き準備を進めてまいります。

2020年度が始まりました。新型コロナウイルスの影響のため、ベトナムの支援地への訪問、多くの人が集まるイベントの開催などが難しい状況が続いています。しかし、NVCは何も動かない訳ではありません。「できる支援」を模索し、継続していきます！特に期待をしているのは設立30周年記念事業です。プロモーションビデオ制作、外国人ゲストへのインタビューなど、リモートワークやオンラインでのコミュニケーションを活用してできる企画を学生が中心となって準備を進めています。今までにない、新たな挑戦にワクワクしています。

今年度は例年より会員の皆様と直接会える機会が少ないかもしれません。しかし、私たちはベトナムの子どもたちのことを日々想い、活動を続けています。皆様からのご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

2019年度中期ビジョン達成状況まとめ		
【NVC中期ビジョン2018～2022年】		
方針	2019年度の目標	2019年度の成果
<p>支援が必要な途上国の人々の存在を知り、日本及び新潟に住む私たちも同時に成長していく力とスキルを身に付けていくために、学び・発信を繰り返し成長する組織を作ります</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・NVCオリジナル開発教育教材の販売及び普及を目指す。特に、教材のファシリテーターを育成し、多くの人数が出張講演に対応できるよう、スキルを習得していく ・事務局スタッフとして常時3人のアルバイトを採用。ユースのアルバイトスタッフには、実務経験を通じたスキルアップをサポートする 	<ul style="list-style-type: none"> ・NVCオリジナル開発教育教材の販売及び普及を実施。マスコミに注目され、なおかつ3つの団体及び教育機関から出張講演の依頼を受け、実施。 ・事務局スタッフとして常時3人のアルバイトの採用達成。卒業したユースが事務所に立ち寄り、ユースの仕事にアドバイスをするなど経験者が後進を育てていくという良い成長の輪ができてきた。
<p>途上国の貧困層の若者が、自ら成長していく力とスキルを身に付けていけるように事業を実施します。また、そのための新規事業を検討します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海外の各事業で昨年と同様、多くの学生や子どもたちに学業支援及び職業訓練を実施する ・NVCオリジナル商品・Happy Link商品のインターネット販売を展開する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ベトナム障がい児支援事業及びシェルター女児支援事業にて職業訓練につながるスキルアッププログラムを実施。特に、シェルター女児支援事業では、より良い製品作成を目指して縫製プロセスの棚卸や日本での販売を目指した商品作成の見直しを実施した。 ・NVCオリジナル商品・Happy Link商品のインターネット販売を開始。すでに数件の販売があり、今後はより広報に力を入れて展開していく。
<p>会員、支援者、及びコアスタッフの体制を整えるとともに、収入の安定を図り組織の基盤を強化します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルビジネス担当のアルバイトスタッフを設け、スタッフ体制を強化し、Happy Link商品の広報と販売による資金調達に務める ・新潟県内でNVCの紹介ができそうなイベントに多数参加する。NVCキャラバンさんながらに様々な場所へ出向き、多くの人に知ってもらい機会を増やしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルビジネス担当のアルバイトスタッフを中心に、SNSによる広報の強化を実施。 ・新潟県内で新規に参加したイベントが多くあった。会員拡大に向けての新規開拓を実施することができた。
<p>以上の成果を受け、2020年度は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NVC30周年記念事業の実施 ・会員拡大及び支援者増加に向けて各ステークホルダーに対するアプローチ方法の模索 <p>などに力を入れ、事務局機能及びNVCの組織としての力アップに努めていきます！</p>		

【各事業の実施計画】

1 ラオス支援事業

(1) 事業の概要

2020年度は3年間のプロジェクトの最終年にあたる。3年目に残された活動を実施するとともに、活動を定着させるためのフォローアップの活動に取り組む。

上半期、2019年度から持ち越しとなったコミュニティー林や魚保護地区の設置活動と村のデータをまとめた冊子の作成に注力する。また、各種農業技術研修や洪水被害に係る支援にも上半期に集中的に取り組む。特に、小規模灌漑、種もみおよび米銀行の支援については、雨季が本格化する前に着手、実施する。

下半期は、法律研修およびジェンダー研修を中心に行いつつ、フォローアップ活動の実施とラオス行政への引き継ぎ、プロジェクトの最終評価に取り組む。対象村の定期会議とアサパントン郡農民学校およびピン郡普及センターの利用活動については、年間を通じて投入を最小限に留める。

プロジェクトの最終年度であることに鑑みて、これら村での活動を他のNGOやネットワーク組織、行政関係者と共有する場を積極的に求め、村人による自然資源の管理・利用、持続的な開発の事例として広く一般に問い、提言へとつなげていく。

(2) 実施期間 2020年4月1日～2021年3月31日

活動時期は2021年7月までを予定。

(3) 実施場所 ラオス人民民主共和国サワナケート県アサパントン郡、ピン郡

(4) 担当者 JVCラオス事務所 平野駐在員／東京事務所 木村氏

(5) 受益者の範囲 約10村

(6) 予算 112,500円

2 ベトナム奨学金事業

(1) 事業の概要

本事業は、ホーチミン市の経済的に困窮する大学生に対して、入学から卒業までの4年間、奨学金を支給し、学業の継続を支援するものである。1人あたりの奨学金支給額は年額2万円で、2020年度の支給予定人数は表2のとおり。昨年度に引き続き、年間の事業経費は10,000円、奨学金サポーター募集金額は120,000円とする。

また、2015年度以降に支給を開始した学生（1～3年生）に対しては、同年度から導入したサポーター制度により、サポーターである市民・企業・団体とベトナム人奨学生が直接つながる形になっている。

(2) 実施期間 通年

(3) 実施場所 ベトナム社会主義共和国ホーチミン市

(4) 担当者およびスタッフの数

NVC担当者（2人） 大澤容佳・山田裕史、現地スタッフ（1人）：Thu Linh

(5) 受益対象者の範囲および人数：ホーチミン市の大学に通うベトナム人学生51人

(6) 支出予算額 1,241,000円（事業管理費含む）

【表2】2020年度の支援人数（予定）

	4年生	3年生	2年生	1年生	合計
サポーターより抛出	12	13	14	12	51

3 ベトナム障がい児支援事業

(1) 事業の概要

マダグイ子どもセンターへの支援として、新潟県国際交流協会様より国際交流ふれあい基金助成金 85 万円の助成が決定した。

2015 年から 3 年間実施した線香製作プロジェクトによって導入した、線香及びビーズ製作機械を利用し、2018 年から施設の子供たちへの職業訓練事業を行っており、2020 年度も継続事業として線香製作・ビーズ製作を通して職業訓練を実施する。施設で生活する間にこの作業を通して子供たちが協調性や生きる力をつけることを目的としている。

また教育支援事業も継続して行い、教育にかかる費用を支援することにより、安定した教育環境を整え、施設の運営を助け自立支援を行っていく。

教育支援・職業訓練ともに 2020 年度で 3 年目となりこの 1 年間を通して一定の成果を見込んでおり、渡航が難しい時期ではあるが施設との定期的なコミュニケーションを取り事業を行く予定。

尚、2020 年 1 月 23 日、電気のショートによりマダグイ子どもセンターで火災事故が発生した。幸い子どもたちやスタッフに怪我人は出なかったが、施設の約 250 m²を焼失した。NVC では緊急支援として 20 万円の送金を行った。今年度は火災の被害による緊急及び復興支援も検討していく。

(2) 実施期間 2020 年 4 月～2021 年 3 月

(3) 実施場所 ベトナム社会主義共和国 ラムドン省マダグイ子どもセンター
(ベトナム社会主義共和国 ポーチミン市キークワン寺センター 1)

(4) 担当者およびスタッフ 担当者：小林伸子、現地スタッフ：Ly Thu Linh

(5) 受益対象者の範囲及び人数 マダグイ子どもセンターで生活する子ども・青年

(6) 予算額 1,140,000 円

4 ベトナム小学校支援事業

(1) 事業の概要

ベンチェ省ビンカンドン村小学校と継続して交流を行い、PC 教室への支援を行っていく計画である。奨学金サポーターのイソメディカル様から寄付いただいた PC を預かっており、渡航が可能になった際には届けたい。

訪問が難しい時期ではあるが、NVC では引き続き、ビンカンドン村小学校及び村の方々との交流を継続し、今後も児童の安全な教育環境を保持するための支援を行っていく。

(2) 実施日または期間 2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日

(3) 実施場所 ベトナム社会主義共和国 ベンチェ省 ビンカンドン村小学校

(4) 担当者およびスタッフ 担当者：小林伸子 現地スタッフ：Ly Thu Linh

(5) 受益対象者の範囲及び人数 現在の生徒数 225 名

(6) 予算額 140,000 円

5 シェルター女兒自立支援事業（旧名称フェアトレード事業）

（1）事業の概要

昨年度までの経験を活かし、キムチシェルターにおいて、日本で販売していくことを目指して製品開発及び生産を行っていく。作品作りに力を注ぎ、より新潟及び日本で販売できるモノ作りを始動し、販売に力を注ぎ、新潟県内の様々なイベント会場やインターネットでの販売を開始していくこととする。

（2）実施日／期間 通年

（3）実施場所

①ロンアン省キムチシェルター：アオザイチュニック、巻スカート、その他オーダーに応じることができる縫製製品

③販売は各種イベント会場及びバザー会場、その他販売ツールの拡充に努める

（4）担当者およびスタッフ 三上杏里、小林伸子、港美結、加藤はとこ

（5）受益対象者の範囲及び人数

KimChi シェルター：シェルター利用女兒 100 名の内 25 名前後

（6）支出予算額 356,000 円（事業実施諸費含む）

6 スタディツアー事業

（1）事業の概要

ツアーを通してベトナムの現状や NVC プロジェクトの内容、現場、文化、歴史を知り、NVC の活動や援助の必要性を知る。そして、一事業に携わる事で NVC 活動に対する当事者意識を育成する事を目的とする。

2020 年度は、新型コロナウイルスの影響を受けて、8 月開催を見送り収束がみられてから開催するというスケジュールで実施する予定。

（3）実施日 新型コロナウイルス感染の恐れが緩和し次第、実施日を調整して決定

（4）実施場所 ベトナム社会主義国ホーチミン市、ラムドン省マダグイ、ロンアン省、ベンチェ省

（5）担当者及びスタッフ数 三上杏里、小林伸子

（6）受益対象者の範囲及びその人数 一般応募 12 名

（7）支出額 293,000 円

7 チャリティーバザー事業

（1）事業の概要

資金調達、NVC 広報のため NVC 愛のかけ橋バザー&フェスタを年に一度開催する。チャリティーバザーによる物品販売に加え、天然石アクセサリーやシェルター女兒が製作した洋服等の販売に力を入れ、NVC の事業をアピールする機会とする。プロモーションビデオ放映、学生向けパンフレットの配布など、NVC 設立 30 周年記念事業に関わる企画を取り入れる。ここ数年、台風の影響による日程の変更が続いていることから今年度も 11 月末の開催を予定している。

※新型コロナウイルスの流行状況により、イベント開催の可否等慎重に判断する。

- (2) 実施日／期間 2020年11月末頃を予定
- (3) 実施場所 ピア Bandai にぎわいマルシェ
- (4) 担当者およびスタッフの数
担当者：港美結、三上杏里他、ボランティアスタッフを募集する
- (5) 受益対象者の範囲及び人数 来場者数：延べ1,200人
- (6) 支出予算額 89,300円

8 広報・啓発講座・人材育成事業

(1) 事業の概要

今までの実績を活かして確立したNVCのグローバル人材育成プログラムメソッドをより大きく展開していく。特に、2020年度はNVC30周年記念事業があるため、それに彼らの力を発揮してもらうような事業体制を整える。通常業務としては、会計、広報兼ソーシャルビジネス、SDGs普及啓発の3人のスタッフを採用し、NGOの実務経験を積んでもらい、自身の成長につなげてもらう。積極的にボランティア募集も行い、様々な立場の若手がNVC活動に参加できるように環境を整えていく。

NVCのベトナム事業の紹介、NVC開発教育ワークショップやSDGsなどを多くの方々に伝える出張講演も積極的に展開し、多くの方々にNVCに知ってもらう機会を増やしていく。

- (2) 実施日 通年
- (3) 実施場所 NVC事務所、各イベント・講座会場、他
- (4) 担当者及びスタッフ数 三上杏里、鏡千夏(アルバイト)、相馬優花(アルバイト)、松山千紘(アルバイト)
- (6) 受益対象者の範囲及びその人数 100名(講座参加者等)
- (7) 支出額 1,069,500円

9 新潟市在住私費留学生国民健康保険助成事業

(1) 事業の概要

運営の基本である留学生へ助成できる財源が200万円ほどの状況の中で主体である新潟市国際交流協会のこの事業への進め方が課題となる。助成金支出となっているNVCとしては状況を見守りながらこれまで運営委員会にて協議した通り、この制度の在り方を含めて判断をしていく。

- (2) 実施期間 通年(保険料の助成金支払いは年度終了後)
- (3) 実施場所 新潟市
- (4) 担当者 三上杏里、細谷唯一
- (5) 受益対象者の範囲及び人数 助成見込み件数 200件
- (6) 予算額 116,500円

10 30周年記念事業

(1) 事業の概要

NVCが30周年を迎えることを記念して、今年で設立30周年を迎えるNVCが、今後、未来に向けて更なるステップアップをするために今回の事業を行う。コンセプトは未来志向。「これからのNVC、未来を見るNVC」というニュアンスで実施する。

「新潟というフィールドから世界へNVCを、国を超えた助け合いを広げていくこと」をキーワードに、NVCの若手ユースを中心に人との繋がりを広げ「多くの方にNVCを知ってもらおう」ことを目指す。

(2)実施日／期間

2020年4月～2021年3月

(3)実施場所

SNSやインターネットツールを中心に実施

(4)担当者

三上杏里、小林伸子、港美結、相馬優花、鏡千夏、松山千紘

(5)受益者の範囲

5,000人(SNSやインターネットツールなどで参加してくれる人)

(6)支出額 200,000円

11 その他運営に関する事項

(1)「かけ橋」発行

(2)運営委員会の開催

原則として毎月第3土曜日午前10時30分より実施する

(3)外部イベントへの出展

新型コロナウイルスの影響を考慮し、参加可能なイベントに出席する

(4)現地調査 支援先の現況把握としてベトナムでの現地調査を実施する。

(5)資金調達

より多くの人気が気軽に寄付できるように寄付募集キャンペーンや会員を増やすべく新規会員募集キャンペーンなどを行う。

(6) その他

加入予定団体 日本国際ボランティアセンター、新潟県国際交流協会、新潟NPO協会、にいがたNGOネットワーク、新潟ベトナム協会

収入			
項目	2020予算額	2019決算額	備考
会費	900,000	710,000	
会費(正会員)	800,000	602,000	
会費(賛助)	100,000	108,000	
事業	2,080,000	850,985	
バザー売り上げ	300,000	151,365	
NVCオリジナルグッズ売上	1,000,000	157,000	
イベント売り上げ	100,000	54,000	
カレンダー売り上げ	130,000	94,800	
出張講演、講座参加費	200,000	76,620	
スタディツアー事業収益	350,000	317,200	
寄付金	500,000	449,885	
奨学金指定寄付	1,400,000	1,332,000	
募金	300,000	72,859	
助成金	1,000,000	1,100,000	2020年度は85万円は確定
雑収入、委託事業収入	0	45,460	
利息諸収入	50	21	
計	6,180,050	4,561,210	

支出(事業費)			
項目	2020予算額	2019決算額	備考
自主事業(海外)	3,170,000	2,047,776	
奨学金支援事業	1,241,000	180,615	
ベトナム障がい児支援事業	1,140,000	1,171,380	
フェアトレード事業	356,000	257,286	
スタディツアー事業	293,000	359,895	
小学校建設事業	140,000	78,600	
自主事業(国内)	1,358,800	968,127	
バザー	89,300	97,754	
30周年	200,000	135,912	
広報・啓発・人材育成	1,069,500	734,461	
他との協働事業	229,000	227,480	
ラオス(JVC)	112,500	112,740	JVCへ
留学生健康保険(新潟市)	116,500	114,740	新潟市国際交流協会へ
緊急支援	200,000	0	
事業実施諸費	0	0	
計	4,957,800	3,243,383	

支出(事務局費)			
項目	2020予算額	2019決算額	備考
人件費	300,000	499,000	
家賃	148,000	148,000	
旅費交通費	90,000	194,300	
交際費	0	15,000	
支払保険料	15,000	14,763	
講師謝礼	0	0	
消耗品費	5,000	9,372	
事務用品費	5,000	12,849	
送金手数料	4,000	3,374	
他団体登録料	40,000	40,000	
教育費	0	0	
通信費	90,000	104,079	
寄付金	50,000	0	
光熱水費	30,000	33,535	
広告宣伝料	80,000	0	
印刷費	50,000	67,133	
会場費	0	0	
その他雑費	10,000	24,074	
計	917,000	1,165,479	

支出(計)			
項目	2020予算額	2019決算額	備考
事業費	4,957,800	3,243,383	
事務局費	917,000	1,165,479	
計	5,874,800	4,408,862	

2020年度

一般会計活動予算書

(費用科目別フォーム)

2020年4月1日から2021年3月31日まで			
科目		特定非営利活動法人 新潟国際ボランティアセンター	
		金額	
		2020年予算	2019年決算
		増減	
I	経常収益		
1	受取会費		
	正会員受取会費	800,000	602,000
	賛助会員受取会費	100,000	108,000
	小計	900,000	710,000
2	受取寄附金		
	一般寄付	500,000	449,885
	奨学金事業指定寄付	1,400,000	1,332,000
	募金	300,000	72,859
	小計	2,200,000	1,854,744
3	受取助成金等		
	受取民間助成金	1,000,000	1,100,000
	小計	1,000,000	1,100,000
4	事業収益		
	バザー売り上げ	300,000	151,365
	NVCオリジナルグッズ売上	1,000,000	157,000
	イベント売り上げ	100,000	54,000
	カレンダー売り上げ	130,000	94,800
	出張講演、講座参加費	200,000	317,200
	スタディツアー事業収益	350,000	76,620
	小計	2,080,000	850,985
5	その他収益		
	受取利息	50	21
	雑収入、委託事業収入	0	45,460
	受取報奨金	0	0
	小計	50	45,481
	経常収益計	6,180,050	4,561,210
II	経常費用		
1	事業費		
(1)	人件費	700,000	515,880
	法定福利費	0	0
	福利厚生費	0	0
	人件費計	700,000	515,880
(2)	その他経費		
	仕入もしくは事業実施費	2,786,000	1,590,303
	講師謝礼	135,000	0
	印刷費	103,000	34,106
	広告宣伝費	98,000	10,906
	通信費	75,000	43,370
	会場費	40,000	8,370
	委託費	0	69,000
	消耗品費	45,000	10,959
	支払い保険料	2,800	13,600
	交際費	17,000	30,768
	旅費交通費	420,000	572,789
	送金手数料	2,000	5,532
	家賃	296,000	296,000
	光熱水費	38,000	41,800
	その他雑費	200,000	0
	その他経費計	4,257,800	2,727,503
	事業費計	4,957,800	3,243,383
2	管理費		
(1)	人件費	300,000	499,000
	教育費	0	0
	寄付金	50,000	0
	他団体登録料	40,000	40,000
	講師謝礼	0	0
	印刷費	50,000	67,133
	広告宣伝費	80,000	0
	通信費	90,000	104,079
	会場費	0	0
	消耗品費	5,000	9,372
	事務用品費	5,000	12,849
	支払い保険料	15,000	14,763
	交際費	0	15,000
	旅費交通費	90,000	194,300
	送金手数料	4,000	3,374
	家賃	148,000	148,000
	光熱水費	30,000	33,535
	その他雑費	10,000	24,074
	管理費計	917,000	1,165,479
	経常費用計	5,874,800	4,408,862
	当期経常増減額	305,250	152,348
III	経常外収益		
	固定資産売却益・経常外収益	0	0
	雑損失	0	0
IV	経常外費用		
	税引前当期正味財産増減額	305,250	152,348
	法人税、住民税及び事業税	0	0
	当期正味財産増減額	305,250	152,348
	前期繰越正味財産額	6,066,068	5,913,720
	次期繰越正味財産額	6,371,318	6,066,068

(単位:円)

第5号議案

役員の改選について

定款変更に伴い、役員を以下の通り改選する。

尚、今改正期における任期は2020年5月30日より2年間とする。

(五十音順)

運営委員	上田 和孝、緒方 りな、加藤はとこ、金子洋二、北村 泰、櫛谷圭司、後藤ルミ、小林伸子、佐々木寛、佐藤 舞、高橋正樹、港美結、馬場拓也、細谷唯一、大澤容佳、三上杏里、山田 裕史、若月 章
監 事	阿部美恵子、藤井由美子
アドバイザー	西村智奈美、前野春樹、山田太郎